事業所名:グループホーム　いわき

2　目標達成計画

作成日:　平成　27　年　11　月 17　日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	○理念の共有と実践 振り返りの場面として毎日の唱和、日常の業務ででの改善すべき点を注意し合っているが、ただ暗記するだけの理念になり、きちんと理解していない。	職員一人一人が理念に対しての理解を深める。	○毎朝の唱和の継続。 ○毎月の職員会議にて入居者に対してどのように理念を理解して接しているかを再確認する。 ○定期的に内部研修を行い自然に行動出来るように振り返りの機会を多くする。	3か月
2	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 家族の不安解消や、トラブルの回避として、グループホームでの支援がどこまで可能であるのかが具体的ではない。	家族の不安解消やトラブルの回避に努める。	家族へ入居者の重度化に対しての支援がどこまで可能なのかを明確にし、具体的に文章化して、家族が来所した時に再度説明し、情報提供を行いグループホームの方針を共有化する。	4か月
3	6	○身体拘束をしないケアの実践 外部研修後の報告会を実施する事によりグループホーム全体で身体拘束をしないための取組を学んでいるが、ケアの実践まで浸透していない。	内部研修により身体拘束の理解を深める。	○日々の介護の現場において職員同士気が付いた事は言い合える環境作りをする。 ○定期的に内部研修を行う。 ○時には外部からの講師による研修を行う。 ○日頃から職員一人一人が言葉使いに気をつける。	6か月
4	45	○入浴を楽しむ事が出来る支援 現状の入浴は週2回である。 一人ひとりの希望に沿った入浴が出来ていない。	入居者の希望に沿った入浴を試みる。	○入居者の希望を聞く。 ○希望があれば希望に沿った入浴が出来る様に支援する。 ○声掛けをして入居者に周知する。	3か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。